

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	微生物検査学1		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	通年 月曜日3,4限	教室名	801,802,6F実習室
担 当 教 員	山本 勇蔵 ,白石晃一	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
・微生物とヒトとの関係、特に感染症について解説する。 ・さらにその原因となる微生物の性質や検出法(同定法)を解説する。 ・細菌及び真菌の培養方法及同定方法及び細菌の薬剤感受試験の手技を修得する。						
《成績評価の方法と基準》						
前期:筆記試験100%(中間テスト50%、期末テスト50%) 後期:筆記試験50%(期末テスト)、レポート評価50% ＊その他、受講態度、実習態度も考慮する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
テキスト:臨床検査学講座・微生物学/臨床微生物学(医歯薬出版) 参考図書:図説臨床検査法 細菌・真菌学(医歯薬出版)、配布資料						
《授業外における学習方法》						
・教科書を熟読(予習、復習)すること。欄外解説や索引を駆使する。 ・医療に関する報道、特集(新聞、TV)などに注目し積極的に情報収集する。						
《履修に当たっての留意点》						
・臨床検査技師として医療の一翼を担う使命感を養うようにする。 ・身近な人があなたの検査を受ける時のことを想像してみる。 ・積極的・主体的に参加し、班員と協働しながら基礎的な手技の修得に努めること。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	総論を復習することにより各論と結び付ける。		テキスト P107-P111 配布資料	総論の復習 テキスト熟読 配布資料熟読
		各コマにおける授業予定	・総論の復習、各論の概要解説 ・Staphylococcusなどの解説			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	各種グラム陽性球菌、陰性球菌の性状、病原性を理解する。		テキスト P112-P126 配布資料	総論の復習 テキスト熟読 配布資料熟読
		各コマにおける授業予定	・Streptococcus,Enterococcusの解説 ・Neisseriaなどの解説			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	腸内細菌科細菌、特に大腸菌の性状、病原性を理解する。		テキスト P127-P135 配布資料	総論の復習 テキスト熟読 配布資料熟読
		各コマにおける授業予定	・腸内細菌科細菌の概説 ・Escherichiaの解説			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	赤痢菌、サルモネラ菌などの性状、病原性を理解する。		テキスト P136-P149 配布資料	総論の復習 テキスト熟読 配布資料熟読
		各コマにおける授業予定	・Shigella,Salmonellaなどの解説			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	Vibrio,Haemophilusなどの性状、病原性を理解する。		テキスト P150-P168 配布資料	総論の復習 テキスト熟読 配布資料熟読
		各コマにおける授業予定	・Vibrioなどの解説			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	Bartonella, Pseudomonasなどの性状、病原性を理解する。	テキスト P163-P176 配布資料	総論の復習 テキスト熟読 配布資料熟読
		各コマにおける授業予定	・Bartonella, Pseudomonasなどの解説		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	Bordetella, Lesionellaなどの性状、病原性を理解する。	テキスト P169-P183 配布資料	総論の復習 テキスト熟読 配布資料熟読
		各コマにおける授業予定	・Bordetella, Lesionellaなどの解説		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	Bordetella, Lesionellaなどの性状、病原性を理解する。	テキスト P175-P183 配布資料	総論の復習 テキスト熟読 配布資料熟読
		各コマにおける授業予定	・Bordetella, Lesionellaなどの解説		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	ウイルス総論、DNAウイルスの病原性を理解する。	テキスト P282-P296 配布資料	総論の復習 テキスト熟読 配布資料熟読
		各コマにおける授業予定	・ウイルスの形態、分類などの解説 ・DNAウイルスの病原性などの解説		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	RNAウイルスの病原性を理解する。	テキスト P297-P315 配布資料	総論の復習 テキスト熟読 配布資料熟読
		各コマにおける授業予定	・RNAウイルスの病原性などの解説 ・ウイルスの検査法の解説		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	グラム陰性、微好気性のらせん菌及び好気性グラム陽性桿菌の理解	テキスト ・P10～P11 ・P184-196	テキストの該当ページを 読んでおくこと。 特に総論部分は必ず復 習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	①グラム陰性らせん菌と微好気性についての説明。 Spirillum属、Campylobacter属、Helicobacter属 ②好気性グラム陽性桿菌の説明。 Bacillus属、Listeria属、Corynebacterium属		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	抗酸菌の特徴及び検査法の概要を理解する。	テキスト ・P7～8 ・P197-207	テキストの該当ページを 読んでおくこと。 特に総論部分は必ず復 習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	①感染症の位置づけと抗酸菌菌体の特殊性の説明。 ②抗酸菌各菌種の説明。 Mycobacteriaceae、Nocardiaceae ③抗酸菌検査の概要の説明。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	スピロヘータ科、マイコプラズマ科の位置づけと特殊性の理解	テキスト ・P8 ・P232-241	テキストの該当ページを 読んでおくこと。 特に総論部分は必ず復 習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	①他の細菌との違いについての説明。 ②各菌種の説明 Treponema pallidum、Leptospiraceae、Mycoplasmataceae ③検査法の概要の説明。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	リケッチア、クラミジアの位置づけと特殊性の理解	テキスト ・P8 ・P242-249	テキストの該当ページを 読んでおくこと。 特に総論部分は必ず復 習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	①他の細菌との違いについての説明。 ②偏性細胞内寄生性細菌の特徴の説明。 ③感染症と原因菌の関係の説明。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	偏性嫌気性菌の特徴を理解する。	テキスト ・P15～18 ・P208-231	テキストの該当ページを 読んでおくこと。 特に総論部分は必ず復 習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	①偏性嫌気性菌の発育条件と感染症の説明。 ②偏性嫌気性菌の培養方法		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	微生物検査学1	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生	学期及び曜時間	通年 月曜日3.4限	教室名	801,802,6F実習室
担 当 教 員	山本 勇藏,白石晃一	実務経験と その関連資格			
《授業科目における学習内容》					
・微生物とヒトとの関係、特に感染症について解説する。 ・さらにその原因となる微生物の性質や検出法(同定法)を解説する。 ・細菌及び真菌の培養方法及同定方法及び細菌の薬剤感受試験の手技を修得する。					
《成績評価の方法と基準》					
前期:筆記試験100%(中間テスト50%、期末テスト50%) 後期:筆記試験50%(期末テスト)、レポート評価50% ＊その他、受講態度、実習態度も考慮する。					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
テキスト:臨床検査学講座・微生物学/臨床微生物学(医歯薬出版) 参考図書:図説臨床検査法 細菌・真菌学(医歯薬出版)、配布資料					
《授業外における学習方法》					
・教科書を熟読(予習、復習)すること。欄外解説や索引を駆使する。 ・医療に関する報道、特集(新聞、TV)などに注目し積極的に情報収集する。					
《履修に当たっての留意点》					
・臨床検査技師として医療の一翼を担う使命感を養うようにする。 ・身近な人があなたの検査を受ける時のことを想像してみる。 ・積極的・主体的に参加し、班員と協働しながら基礎的な手技の修得に努めること。					
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	偏性嫌気性菌の分類を理解する。	テキスト ・P15～18 ・P208-231	テキストの該当ページを 読んでおくこと。 特に総論部分は必ず復 習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	①偏性嫌気性菌の分類と代表的な菌種の説明。 ②代表的な偏性嫌気性菌の鑑別方法の説明。		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	真菌の分類と鑑別方法を理解する。	テキスト ・P9、P65 ・P250-P281	テキストの該当ページを 読んでおくこと。 特に総論部分は必ず復 習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	①真菌の分類(酵母様真菌・糸状菌)の説明。 ②形態学的分類の基本概念の説明。 ③真菌の検査法(直接塗抹、培養同定、薬剤感受性)の説明。		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	真菌の分類と鑑別方法を理解する。	テキスト ・P9、P65 ・P250-P281	テキストの該当ページを 読んでおくこと。 特に総論部分は必ず復 習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	①真菌の分類(酵母様真菌・糸状菌)の説明。 ②形態学的分類の基本概念の説明。 ③真菌の検査法(直接塗抹、培養同定、薬剤感受性)の説明。		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	抗生物質の作用機序と作用及び薬剤耐性について基本的な知識を修得する。	テキスト ・P59～P71 ・P369～P376	テキストの該当ページを 読んでおくこと。 特に総論部分は必ず復 習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	①対象微生物による薬剤の違い。 ②抗生物質の作用と作用機序の説明。 ③薬剤耐性機序の説明		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬剤感受性試験の方法と薬剤耐性菌の理解	テキスト ・P59～P71 ・P369～P376	テキストの該当ページを 読んでおくこと。 特に総論部分は必ず復 習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	①薬剤感受性試験の概要説明 ②薬剤耐性菌の耐性機序の説明 ③薬剤耐性菌の検出方法		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	細菌検査実習のオリエンテーション 細菌検査の基本的手技の修得	テキスト P317-P322 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	①実習にあたっての注意事項の説明 ②無菌操作の説明と消毒液の使用方法的修得 ③レポート作成の説明		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	細菌検査実習のオリエンテーション 細菌検査の基本的手技の修得	テキスト P331-P339 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	④オートクレーブ、ガス・バーナー、白金耳、白金線など検査機材・器具の使用方法的修得 ⑤培地作成(血液、チョコレート、BTBなど)の実施 ⑥培地への画線塗抹手技の訓練		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	細菌検査実習のオリエンテーション 細菌検査の基本的手技の修得	テキスト P22-P31 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	⑦コロニー観察とコロニー塗抹の実施 ⑧グラム染色の実施と原理の確認		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標	細菌検査実習のオリエンテーション 細菌検査の基本的手技の修得	テキスト P323-P330 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習:レポート作成
		各コマにおける授業予定	⑨顕微鏡の適切な使用方法的修得 ⑩グラム染色の観察と培養結果の確認		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標	偏性嫌気性菌の培養方法と細菌の酸素要求性の確認	テキスト P208-P215 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	①同一菌株の好気培養と嫌気培養の実施 ②各種菌株のグラム染色による形態観察		
第26回	実習形式	授業を通じての到達目標	偏性嫌気性菌の培養方法と細菌の酸素要求性の確認	テキスト P208-P215 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	③培養した菌のグラム染色性の確認 ④カタラーゼ試験の実施		
第27回	実習形式	授業を通じての到達目標	偏性嫌気性菌の培養方法と細菌の酸素要求性の確認	テキスト P215-P231 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	⑤嫌気培養と好気培養の結果確認		
第28回	実習形式	授業を通じての到達目標	偏性嫌気性菌の培養方法と細菌の酸素要求性の確認	テキスト P215-P231 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習:レポート作成
		各コマにおける授業予定	⑥菌種の推定と最終同定に必要な確認試験の推定		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標	グラム陽性球菌の同定検査法の理解	テキスト P107-P119 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	・コロニーの観察 ・グラム染色・鏡検(スケッチ)		
第30回	実習形式	授業を通じての到達目標	グラム陽性球菌の同定検査法の理解	テキスト P107-P119 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	・カタラーゼ試験、コアグラゼ試験などの実習		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	微生物検査学1		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	通年 月曜日3.4限	教室名	801,802,6F実習室
担 当 教 員	山本 勇藏 ,白石晃一	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
・微生物とヒトとの関係、特に感染症について解説する。 ・さらにその原因となる微生物の性質や検出法(同定法)を解説する。 ・細菌及び真菌の培養方法と同定方法及び細菌の薬剤感受試験の手技を修得する。						
《成績評価の方法と基準》						
前期:筆記試験100%(中間テスト50%、期末テスト50%) 後期:筆記試験50%(期末テスト)、レポート評価50% ＊その他、受講態度、実習態度も考慮する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
テキスト:臨床検査学講座・微生物学/臨床微生物学(医歯薬出版) 参考図書:図説臨床検査法 細菌・真菌学(医歯薬出版)、配布資料						
《授業外における学習方法》						
・教科書を熟読(予習、復習)すること。欄外解説や索引を駆使する。 ・医療に関する報道、特集(新聞、TV)などに注目し積極的に情報収集する。						
《履修に当たっての留意点》						
・臨床検査技師として医療の一翼を担う使命感を養うようにする。 ・身近な人があなたの検査を受ける時のことを想像してみる。 ・積極的・主体的に参加し、班員と協働しながら基礎的な手技の修得に努めること。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第31回	実習形式	授業を通じての到達目標	グラム陽性球菌の同定検査判定法の理解		テキスト P107-P119 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	・同定検査の判定			
第32回	実習形式	授業を通じての到達目標	次回実習の準備		テキスト P127-P149 P333-P337 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	・腸内細菌同定検査の培地作製(TSI,LIM,VPなど)			
第33回	実習形式	授業を通じての到達目標	腸内細菌の同定検査法の理解		テキスト P127-P149 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	・コロニー観察 ・グラム染色・鏡検			
第34回	実習形式	授業を通じての到達目標	腸内細菌の同定検査法の理解		テキスト P127-P149 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	・腸内細菌同定検査用培地(TSI,LIM,VPなど)への接種			
第35回	実習形式	授業を通じての到達目標	腸内細菌科菌同定検査の判定法の理解		テキスト P127-P149 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	同定検査の判定			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第36回	実習形式	授業を通じての到達目標	次回実習の準備	テキスト P107-P119 P127-P149 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	・陽性球菌、腸内細菌同定検査用培地の作製		
第37回	実習形式	授業を通じての到達目標	グラム陽性球菌、腸内細菌の同定検査法の理解	テキスト P107-P119 P127-P149 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	・コロニー観察 ・グラム染色・鏡検		
第38回	実習形式	授業を通じての到達目標	グラム陽性球菌、腸内細菌科菌同定用培地への接種	テキスト ・p107～119 ・p127～149 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	・OP感受性、パシトラシン感受性などの実施 ・TSI,LIM,VPなどへ接種		
第39回	実習形式	授業を通じての到達目標	グラム陽性球菌、腸内細菌同定検査の判定法の理解	テキスト P107-P119 P127-P149 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	・同定検査の判定		
第40回	実習形式	授業を通じての到達目標	次回実習の準備	テキスト P120-P126 P158-P161 P333-P337 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	・Haemophilus,Neisseria同定用培地の作製(XVディスク用寒天培地など)		
第41回	実習形式	授業を通じての到達目標	Haemophilus,Neisseria同定検査法の理解	テキスト P120-P126 P158-P161 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	・コロニー観察 ・グラム染色・鏡検		
第42回	実習形式	授業を通じての到達目標	Haemophilus,Neisseriaの同定用培地への接種	テキスト P120-P126 P158-161 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	・XVディスク用寒天培地、DNA寒天培地などに接種		
第43回	実習形式	授業を通じての到達目標	Haemophilus,Neisseria同定検査の判定法の理解	テキスト P120-P126 P158-P161 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	・同定検査の判定		
第44回	実習形式	授業を通じての到達目標	次回実習の準備	テキスト P150-P154 P169-P172 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	・Vibrio,Pseudomonas同定用培地の作成(TCBS、NACなど)		
第45回	実習形式	授業を通じての到達目標	Vibrio,Pseudomonas同定検査法の理解	テキスト P150-154 P169-P172 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	・コロニー観察 ・グラム染色鏡検		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	微生物検査学1		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	通年 月曜日3.4限	教室名	801,802,6F実習室
担 当 教 員	山本 勇蔵 ,白石晃一	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
・微生物とヒトとの関係、特に感染症について解説する。 ・さらにその原因となる微生物の性質や検出法(同定法)を解説する。 ・細菌及び真菌の培養方法及同定方法及び細菌の薬剤感受試験の手技を修得する。						
《成績評価の方法と基準》						
前期:筆記試験100%(中間テスト50%、期末テスト50%) 後期:筆記試験50%(期末テスト)、レポート評価50% ＊その他、受講態度、実習態度も考慮する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
テキスト:臨床検査学講座・微生物学/臨床微生物学(医歯薬出版) 参考図書:図説臨床検査法 細菌・真菌学(医歯薬出版)、配布資料						
《授業外における学習方法》						
・教科書を熟読(予習、復習)すること。欄外解説や索引を駆使する。 ・医療に関する報道、特集(新聞、TV)などに注目し積極的に情報収集する。						
《履修に当たっての留意点》						
・臨床検査技師として医療の一翼を担う使命感を養うようにする。 ・身近な人があなたの検査を受ける時のことを想像してみる。 ・積極的・主体的に参加し、班員と協働しながら基礎的な手技の修得に努めること。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第46回	実習形式	授業を通じての到達目標	Vibrio,Pseudomonasの同定検査用培地への接種		テキスト P150-154 P169-172 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	・TCBS,NAC寒天培地などに接種			
第47回	実習形式	授業を通じての到達目標	Vibrio,Pseudomonas同定検査の判定法の理解		テキスト P150-P154 P169-P172 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	・同定検査の判定			
第48回	実習形式	授業を通じての到達目標	上記実習の復習		テキスト 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	・質疑応答			
第49回	実習形式	授業を通じての到達目標	抗酸菌染色(チール・ネルゼン法) 真菌検査(真菌直接塗抹、酵母様真菌と糸状菌の同定)		テキスト ・P28、P197 ・P273-P281 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	①グラム染色による抗酸菌の観察 ②チール・ネルゼン染色の実施 ③真菌直接塗抹(KOH法)の実施			
第50回	実習形式	授業を通じての到達目標	抗酸菌染色(チール・ネルゼン法) 真菌検査(真菌直接塗抹、酵母様真菌と糸状菌の同定)		テキスト P28、P197 P273-P281 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	④酵母様真菌のグラム染色 ⑤スライドカルチャーの実施			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第51回	実習形式	授業を通じての到達目標	抗酸菌染色(チール・ネルゼン法) 真菌検査(真菌直接塗抹、酵母様真菌と糸状菌の同定)	テキスト P255-P268 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	⑥スライドカルチャーの判定と酵母様真菌の同定		
第52回	実習形式	授業を通じての到達目標	抗酸菌染色(チール・ネルゼン法) 真菌検査(真菌直接塗抹、酵母様真菌と糸状菌の同定)	テキスト P255-P268 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	⑦糸状菌の観察と同定		
第53回	実習形式	授業を通じての到達目標	薬剤感受性検査と薬剤耐性菌の検出手技の修得	テキスト P369-P372 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	①薬剤感受性検査用菌液の作成		
第54回	実習形式	授業を通じての到達目標	薬剤感受性検査と薬剤耐性菌の検出手技の修得	テキスト P369-P372 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	②ディスク拡散法のディスク置き		
第55回	実習形式	授業を通じての到達目標	薬剤感受性検査と薬剤耐性菌の検出手技の修得	テキスト P373-P376 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	③β-ラクタマーゼの検出 ④薬剤感受性検査の判定(薬剤耐性菌を含む)		
第56回	実習形式	授業を通じての到達目標	薬剤感受性検査と薬剤耐性菌の検出手技の修得	テキスト P373-P376 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	⑤薬剤感受性検査の結果確認と薬剤耐性菌の判定		
第57回	実習形式	授業を通じての到達目標	模擬検体からの起炎菌の検出と同定、薬剤感受性検査の実施、及び報告書作成の修得	テキスト P340-P351 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	①検体のグラム染色 ②コロニー観察とコロニー塗抹による菌種の推定 ③簡易性状確認		
第58回	実習形式	授業を通じての到達目標	模擬検体からの起炎菌の検出と同定、薬剤感受性検査の実施、及び報告書作成の修得	テキスト P340-P351 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	④同定検査(確認培地への接種) ⑤薬剤感受性検査の実施		
第59回	実習形式	授業を通じての到達目標	模擬検体からの起炎菌の検出と同定、薬剤感受性検査の実施、及び報告書作成の修得	テキスト P340-P351 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	⑥確認培地による菌種同定 ⑦薬剤感受性の判定		
第60回	実習形式	授業を通じての到達目標	模擬検体からの起炎菌の検出と同定、薬剤感受性検査の実施、及び報告書作成の修得	テキスト P340-P351 配布資料	予習 ・テキスト熟読 ・配布資料熟読 復習 ・レポート作成
		各コマにおける授業予定	⑧報告書の作成 ⑨結果発表		